

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
 (仮称)木津川市相楽台1丁目PJ 新築工事 自走式駐車場棟

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.30</b>			<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>						
1.1 騒音						
1.2 遮音						
1 開口部遮音性能				3.0		
2 界壁遮音性能				3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0		
1.3 吸音				3.0		
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	<b>0.58</b>			<b>3.0</b>
2.1 室温制御		-3.0	1.00			
1 室温				3.0		
2 外皮性能		3.0	1.00	3.0		
3 ゾーン別制御性						
2.2 湿度制御				3.0		
2.3 空調方式				3.0		
<b>3 光・視環境</b>						
3.1 昼光利用						
1 昼光率				3.0		
2 方位別開口				3.0		
3 昼光利用設備				3.0		
3.2 グレア対策						
1 昼光制御				3.0		
3.3 照度				3.0		
3.4 照明制御				3.0		
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.0</b>	<b>0.42</b>			<b>3.0</b>
4.1 発生源対策						
1 化学汚染物質				3.0		
2 気体汚染物質				3.0		
4.2 換気		<b>3.0</b>	<b>0.60</b>			
1 換気量				3.0		
2 自然換気性能				3.0		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	1.00	3.0		
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	<b>0.40</b>			
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0		
2 喫煙の制御		3.0	1.00	3.0		
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>			<b>2.1</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.0</b>	<b>0.40</b>			<b>2.0</b>
1.1 機能性・使いやすさ						
1 広さ・収納性						
2 高度情報通信設備対応						
3 バリアフリー計画						
1.2 心理性・快適性						
1 広さ感・景観						
2 リフレッシュスペース						
3 内装計画						
1.3 維持管理		<b>2.0</b>	<b>1.00</b>			
1 維持管理に配慮した設計						
2 維持管理用機能の確保		2.0	1.00			
3 衛生管理実現						
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.2</b>	<b>0.30</b>			<b>2.2</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
1 耐震性		3.0	0.80			
2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>1.0</b>	<b>0.30</b>			
1 躯体材料の耐用年数						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		1.0	1.00			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						
6 主要設備機器の更新必要間隔						

2.4 信頼性			2.0	0.20				
1	空調・換気設備		-	-				
2	給排水・衛生設備		-	-				
3	電気設備		3.0	0.50				
4	機械・配管支持方法		1.0	0.50				
5	通信・情報設備		-	-				
3 対応性・更新性			2.4	0.30				2.4
3.1 空間のゆとり			1.0	0.30				
1	階高のゆとり		1.0	1.00				
2	空間の形状・自由さ		-	-				
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30				
3.3 設備の更新性			3.0	0.40				
1	空調配管の更新性		-	-				
2	給排水管の更新性		-	-				
3	電気配線の更新性		3.0	1.00				
4	通信配線の更新性		-	-				
5	設備機器の更新性		-	-				
6	バックアップスペースの確保		-	-				
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40				2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30				2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30				3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性								3.6
LR1 エネルギー			-	0.40				4.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-				3.0
2 自然エネルギー利用			5.0	0.13				5.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.83	5.0	0.63				5.0
集合住宅以外の評価(3a,3b)		照明設備のみを使用	5.0	1.00				
集合住宅の評価(3c)			-	-				
4 効率的運用			3.0	0.25				3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00				
4.1 モニタリング			-	-				
4.2 運用管理体制			3.0	1.00				
集合住宅の評価			-	-				
4.1 モニタリング			-	-				
4.2 運用管理体制			-	-				
LR2 資源・マテリアル			-	0.30				2.8
1 水資源保護			3.0	0.20				3.0
1.1 節水			-	-				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	1.00				
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70				
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30				
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60				2.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11				
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22				
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		主要材料は鉄骨を使用している。	4.0	0.22				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20				3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	1.00				
3.2 フロン・ハロンの回避			-	-				
1 消火剤			-	-				
2 発泡剤(断熱材等)			-	-				
3 冷媒			-	-				
LR3 敷地外環境			-	0.30				3.2
1 地球温暖化への配慮		建築材料の使用を極力抑えている。	5.0	0.33				5.0
2 地域環境への配慮			2.7	0.33				2.7
2.1 大気汚染防止			-	-				
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.67				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.3	0.33				
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.33				
2 汚水処理負荷抑制			-	-				
3 交通負荷抑制			3.0	0.33				
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.33				
3 周辺環境への配慮			2.0	0.33				2.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-				
1 騒音			-	-				
2 振動			-	-				
3 悪臭			-	-				
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			1.6	0.67				
1 風害の抑制			1.0	0.70				
2 砂塵の抑制			-	-				
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30				
3.3 光害の抑制			3.0	0.33				
1 屋外照明及び屋内照明のうち月に運れる光への対策			3.0	0.70				
2 月光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30				